

## 令和3年度市民懇談会における意見のとりまとめ

市民懇談会において、皆さまから頂きました市政に対するご意見、ご要望について、現在行政で取組を進めている事項を担当課にヒアリングしましたので、以下のとおりご紹介いたします。

項目	ご意見	担当課ヒアリングによる現在の取組状況について
防災	<p>防災スピーカーがほとんど役に立たないが、改善方法はないのか？</p> <p>他に利用する方法は？</p>	<p>防災行政無線が聞こえにくいというご意見は以前から聞くことがありますが、市としては、災害情報や緊急情報を広く市民に伝えるためのひとつの方法として設置している施設となります。</p> <p>防災行政無線から放送される内容は「緊急速報メール」「生駒市緊急災害情報メール」「テレビ」「ラジオ」「生駒市ホームページ」やSNS等で同じ情報が発信されますので、いずれかの方法で災害情報や緊急情報を受信いただければと思います。</p> <p>防災行政無線からの放送は時間帯や風向き、天候などにより音声の大きさや届く範囲が異なるため聞こえにくいところ、近隣の放送が重複して聞こえるところも時により存在します。</p> <p>生駒市が独自に発信する情報については、機械音声から肉声に変更し、より聞き取りやすいように改善しています。</p> <p>他市では、防災行政無線を時報や地域行事のアナウンスに活用している事例も見られますが、いざという時の重要な情報が埋没してしまう可能性などがあるため、本市では現在のところ、そのような活用については、想定していません。</p>
	<p>備蓄している食料やペーパー類の状況が分からなかった。</p> <p>生理用品などが含まれているか、品目に偏りがなかかなど知りたい。</p>	<p>現在、市全体で約5万食を備蓄しています。令和4年度以降は、さらに年間約1万食を追加備蓄すべく予算を計上しているところです。毎年度1万食を追加していき、5年後には9万8千食を備蓄した状態とし、その状態を維持するよう入れ替えを行います。</p> <p>トイレトペーパーやペーパータオルの備蓄はある程度の量はありますが、ウエットティッシュ等の保存期限の短い物品の備蓄はありません。感染症対策のための消毒等については消毒液とペーパータオルを組み合わせ対応しています。</p> <p>生理用品の備蓄は、毎年計画的に備蓄数を増加していますが、家庭では女性1人について1クール分（1月）ずつの備蓄を心がけてください。</p> <p>そのほか備蓄品目については多品目を備蓄しているが、保存期限や保管状況からすべてのものを備蓄することは不可能であると考えます。また、行政に頼るだけでなく、市民懇談会の動画内でも案内があったように、各家庭においても最低3日間の食料や生活用品のどの備蓄を行ってください。</p>

項目	ご意見	担当課ヒアリングによる現在の取組状況について
防災	<p>ペットがいるので、有事の際は避難所に行くかどうか決めかねている。家族であるペットとの避難について説明が無く不安に思った。</p>	<p>ペットと避難するかどうかは飼い主として判断してください。 避難所内で過ごす時もペットは飼い主の責任で管理をお願いします。ペット用の食料、トイレ、ゲージなども避難の際は飼い主でご準備いただく必要があります。</p>
	<p>できれば、公園でテントを張りたいと思っているが、張って良いかが分からない。張って良いならこのエリアに限定されるのかなど、公共施設の利用方法も考えて欲しい。</p>	<p>災害時に公園にテントを張ることを禁止しているということではありませんが、公園施設は災害時に災害用ヘリコプターの発着や災害廃棄物集積場、仮設住宅建設予定地などの役割を担っています。そのような役割を果たさなければいけなくなった時、移動をお願いするということもあります。 テントを張ってもよいエリアについては、地域の自主防災会や自治会で避難所となっている公共施設（学校など）の活用について考えているところもあるので、各地域の自主防災計画に目を通したり、自主防災会の役員に聞いたりするなどし、事前に確認を取っておくと良いでしょう。</p>

また、以下のご意見、ご要望につきましては、行政にお伝えするとともに、今後の議会活動に活かすべく、全議員に周知いたしました。

項目	ご意見・ご要望
防災	<ul style="list-style-type: none"><li>・避難所に避難所に設置した大型冷風機は、音が大きく使い物にならない。</li> <li>・防災放送の電話確認に費用が掛かるのは全ての市民に平等でない。 そもそも総合防災訓練が行われた事をあとで知った。身近には感じなかった。 平均年齢70歳の我が自治会は、住民参加の訓練もできず、実際に災害が発生したときには市の支援が無ければ対応できない。 そういった地域への配慮をお願いしたい。また、ハザードマップは定期的に広報いこまちに折り込んで配布してはどうか。</li> <li>・近くに防災放送のマイクがあるが、まったくチャイムだけで内容が聞こえない。 近所の方はわかるだろうが、話し声がなにもわからない。 高い値段をだしても、いざのときは取り残される。怖いので、どうにかしてほしい。</li> <li>・情報の集中により、市民からの連絡が困難にならないように回線の増数をお願いしたい。</li></ul>

※ 上記以外にも、阪神・淡路大震災を経験された方から、その経験を踏まえたご意見や、神戸市の「人と防災未来センター」についてご紹介をいただきましたので、全議員に周知しております。  
この度は貴重なご意見をお送りいただきありがとうございました。